

原 テツアキ

県政報告

発行：原テツアキ事務所
〒656-1711 淡路市富島1975
☎ 0799-82-1255
📠 0799-82-1522
✉ office@hara-tetsuaki.com
HP 原テツアキ 検索



▲全国都道府県議会議員連合から感謝状を拝受いたしました。このあと新正副議長（右端と左端）に事務引き継ぎを行いました



▲昨年6月、議会運営委員長に就任しました。円滑な議会運営を担っています

議会運営委員長に就任

◎令和3年6月の第354回定例県議会の本会議場にて、議長退任の挨拶をした後、**県議会運営委員長に就任いたしました**。県政を動かす両輪の一つとして、議会が円滑に運営できるよう、議会運営委員長の重責を担っていく覚悟です。

◎令和3年8月には初代伊藤博文知事から数えて53代目の齋藤元彦知事がスタートしました。例えば予算編成では、前知事時代には幹部職員が勢ぞろいして重要政策ヒアリングが秋ごろから連日行われていましたが、齋藤知事はこれを廃して部局長のマネジメントに一任しています。

◎PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）方式を県営住宅の建て替えや県立公園で導入を進める予定です。なお、井戸知事時代に**県立淡路島公園をPFIとして「株ニジゲンノモリ」を指定**し、公園としてだけではなく、ゴジラなど魅力ある施設に多くの観光客が訪れています。**同社から県に公園使用料として年間8千万円が収められています**。

◎兵庫県は1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の復旧・復興のために2兆3千億円の借金を負いましたが、行財政改革で約2兆円を返済し、残り3千億円余になりました。因みに東日本大震災の復興予算約32兆円は国民全体で負担しています。

PFI方式導入イメージ

（民間の資金、ノウハウ、経営戦略などを活用）



第355回定例会
で一般質問

新知事に政策提言

9月定例県議会で一般質問に立ち、新県政の方向性や将来像を質しました。その概要を紹介します。

躍動する兵庫へ

国際的研究拠点めざせ

知事は兵庫県で「国際金融都市をめざす」としていますが、世界の金融機関はロンドン、ニューヨーク、上海、シンガポール、東京など証券・商品・金融取引所があり、コミュニケーション言語は英語でハードルが高い。むしろ、本県や神戸市がバイオメディカルクラスターとして名を馳せていることから、「国際的研究拠点」の形成に力を注ぐべきと提言しました。以降、知事は政策を修正し、新たに策定した新ビジョンに国際金融都市は除外しています。

二拠点居住で淡路島活用

国に農振法の緩和を訴え

観光地として人気が高まっている淡路島が、移住先やテレワークの二拠点居住地とし

て脚光を浴びています。しかし、そうしたニーズに応える土地の活用が、農地以外への転用を禁止する農振法によって阻まれています。農振法の緩和を国に働きかけるべきと訴えました。

知事からは「国の岩盤規制の一つで難しい面もあるが、県としてもしっかり対応し粘り強く現状を訴えていく」との回答がありました。

保健所の人員確保など
バックアップ体制構築へ

令和2年3月に本県で最初の新型コロナウイルスが確認されて以降、保健所の職員は各種対応に忙殺されています。

加えて、同年11月25日には淡路島で鳥インフルエンザが発生し、保健所員や県・市職員、自衛隊など延べ2300人が昼夜をかけて殺処分や焼却などに追われました。

保健所の必要な人員確保など、機能が維持できる十分なバックアップ体制の構築が不可欠だと強く要望しました。

現在、県一般職員延べ約千人を数か所に配置し、保健所業務のサポートにあたっています。



淡路景観園芸学校

若年層呼び込みに活用を

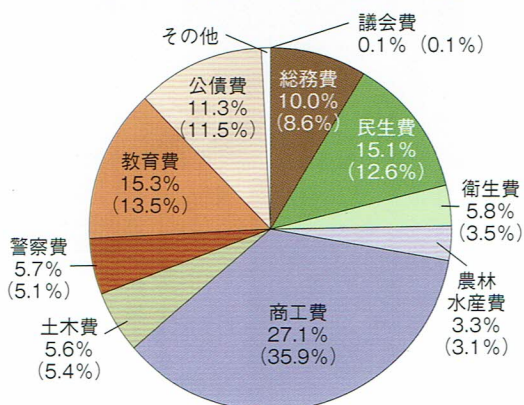
県はさまざまな公共施設を整備してきましたが、時代の背景や変遷を踏まえ、統合や廃止、売却なども検討すべき施設があります。淡路景観園芸学校の素晴らしい環境と建物を生かし、若い世代が淡路に定住したいと思わせるための教育の場として活用してはどうかと提案しました。

水上オートバイ問題

水上オートバイの危険行為に対策検討会議で航行ルールをとりまとめ、県条例で罰則を検討中ですが、航行禁止区域の設定は市町が地域に応じた独自の条例を制定する必要があります。

【令和4年度県当初予算一般会計 歳出構成比】

※カッコ内は令和3年度予算歳出の構成比

令和4年度
県当初予算 4兆2482億円を計上

第357回定例県議会、新知事が就任後、初の予算編成となる令和4年度当初予算案が上程され、可決して成立しました。一般会計は2兆3833億円を計上し、特別会計と公営企業会計を合わせた総額は4兆2482億円、過去最大の令和3年度に次ぐ規模です。

【淡路市内の主な県所管事業】

《道路事業》

名称	工事箇所	事業概要	内容	計画期間
富島久留麻線	石田	道路改良 240 m	用地測量、買収	R4
多賀洲本線	多賀～柳沢	道路改良 1300 m	道路設計	～ R11 ほ場整備
福良江井岩屋線	水越	歩道整備 410 m	用地買収、物件補償	～ R4
志筑郡家線	中田	歩道整備 1440 m	用地測量	～ R4
志筑郡家線	多賀	歩道整備 240 m	用地買収、物件補償	～ R4
大谷鮎原神代線	大町畑	歩道整備 160 m	用地買収	～ R4
福良江井岩屋線	深草～岩屋	自転車通行空間整備	路肩拡幅	～ R6
佐野仁井岩屋線	中持	交差点改良	用地買収、工事	～ R4

※上記以外にも護岸改修、橋梁、舗装修繕、消波ブロック据え付け、県有施設の改修・更新、港湾、砂防えん堤設置・改修、法面砕工、河川土砂撤去など多くの事業を進めています。

※皆さまから頂いている要望の中には、種々理由により、事業化されていない箇所があります。

《漁業》

名称	地区	事業内容
大型漁礁設置	東浦	漁礁工
水産物供給基盤機能保全	仮屋漁港、久留麻	係留施設補修
漁港施設機能強化	仮屋漁港、仮屋	係留施設耐震補強

※左記以外にも、多くの事業を進めています。
※令和4年11月、四大行幸啓の一つ、全国豊かな海づくり大会が明石市をメインに、一部行事を道の駅あわじ（岩屋）で開催されます。

《商工業》

商工会の経営指導員の数、各商工会の小規模事業者数を5年ごとに調査して国から普通交付税処置がされます。年々、小規模事業者が減少しているため国からの交付税が減少していますが、県は平成23年には調査基準に60人分、平成28年には85人分を追加補助しています。今回の調査は令和5年ですが、小規模事業者数が減少しても経営指導員の追加補助を強く要望しています。

《健康福祉》

令和3年末、コロナ感染者数の減少により収束が期待されたのも束の間、オミクロン株が猛威をふるい、医療機関や医療従事者への負担は限界を超えてしまいました。ワクチンの2回接種後、3～4カ月程度で予防効果が減少することが分かっています。新型コロナウイルス感染症は政府の管轄のため、県議会として政府に先手先手の対策を要望しています。

《観光》

2025年の大阪・関西万博開催を見据え、国内外の観光客を淡路島へ導く海上交通の整備などを検討しています。既存の多くの民間施設に加え、夢舞台サスティナブル・パークに作られる民間による新たな複合型大型施設等により交流人口の拡大が期待できます。

《県立高校》

県下125校の県立高校の望ましい規模と配置について、県立高校教育改革第三次実施計画が議論されています。淡路島内5校は少なくとも令和10年までは存続となります。

《農業》淡路市の経営体育成基盤整備事業

淡路市の農地は狭小・不整地が多く、ほ場整備をすることにより農地集積、生産性の向上を行っています。

地区	受益面積・戸数	事業費	事業形態	工期
山田地区	35.6ha・90戸	約13.2億円	面的集積型	H16～H22(7か年)
黒谷五斗長地区	23.3ha・51戸	約9.2億円	農業生産法人等育成型	H18～H28(10か年)
生田大坪地区	25.6ha・44戸	約18.7億円	防災・減災・産地パワーアップ型	H27～R5(9か年)
西山・柳沢東地区	53.5ha・144人	約22.0億円	経営体育成型	R3～R11(予定)
入野2期	31.3ha・85人	約14.8億円	中山間地域型	R4(予定)～R10(予定)

※上記いずれも負担割合は、国:55%、県:27.5%、市:10%、地元:7.5%

※上記以外にも、ため池農村地域防災減災事業など多くの事業を進めています。

フォト・レポート



議長活動を振り返る

交通安全県民大会(交通安全に功勞のあった個人・団体への感謝状贈呈のあと祝辞を送りました)



県納税功勞者表彰式(コロナ禍の厳しい経済状況の中、納税思想の高揚にご協力をいただいた皆様に感謝の言葉)



県教育功勞者表彰式(教育の振興に顕著な功績のあった方、百余名を労いました)



県関係者新年交礼会(兵庫県関係者間の交礼会で新年の挨拶を述べました)

ひょうご安全の日1・17のついで(阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々の霊前に献花し追悼の意を表しました)



全国都道府県議会議長会(全国の都道府県議会議長から正副議長が参加する同委員会が東京の都道府県会館で開かれ出席。人口減少や地域活性化など全国的な課題について意見交換し、対応方策について情報共有)

原テツアキ 走り続けます 淡路のために！



県農業会議臨時総会(県農業会議と兵庫みどり統合・再編され、新たに公益社団法人ひょうご農林機構が発足しました)

淡路花博20周年記念「花みどりフェア」開会式(関係者や兵庫ゆかりの芸能人による開会式で祝辞とテープカット)



商工会法施行60周年記念式典(地域経済を支える同会員の皆さまに感謝の意を述べました)



県立加古川医療センター内臨時重症コロナ専用病棟視察(センター長から説明を受けました)



「ひょうごはじまり館」建築工事起工式、「初代県庁館」見学会(兵庫県の成り立ち、五国の魅力や多様性を発信する拠点として整備中の「初代県庁館」施工見学会で祝辞)



県芸術文化観光専門職大学第一回入学式(国公立大学で初めて本格的な演劇を学べる大学として豊岡市に開学、平田オリザ学長と新入生84名に激励のメッセージ)



令和2年度地域安全兵庫県民大会(県や県防犯協会連合会、県警察の三者共催で開催。防犯活動に顕著な功績のあった方々を表彰しました)